

「18歳未満の面会禁止」 高齢者施設のコロナ対策は不合理？

2/6 毎日新聞

18歳未満は面会禁止——。新型コロナウイルスの集団感染を防ぐため、ある関西地方の特別養護老人ホームは今も年齢で面会を制限しているという。面会の効用とリスク、そのバランスはどうあるべきか。【大沢瑞季】

学校通じて感染広げるから面会 NG？

「祖母もひ孫に会えれば気持ちが明るくなるでしょうから、会わせてあげたい」。冒頭の施設に90代の祖母が入所しているという女性は、小中学生の親戚の子どもたちの顔を祖母に見せられない実情に、切なさをにじませた。

本紙の情報提供窓口「つながる毎日新聞」に投稿したこの女性は「合理的な対策であればもちろん協力しますが、18歳未満の面会禁止は合理性に乏しく、人権とのバランスを欠いていると思います」と年齢制限に納得がいかない様子だ。

施設は取材に応じず、年齢制限の理由は確認できない。だが、女性によれば、子どもは学校で集団生活しているため、施設は子どもから利用者への感染を懸念しているという。

「面会は元気の源」 制限は緩和の方向に

新型コロナの感染症法上の分類が、2023年5月に季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行してから8カ月あまり。他の施設はどうか。

コロナ禍でクラスター（感染者集団）の発生を4回経験し、一時は最多60人が感染した東京都目黒区の特別養護老人ホーム「青葉台さくら苑」は同年3月、事前予約制とする1回約30分の面会を再開した。

さらに12月には、午後2時半～4時半は予約なしで約30分の面会を可能とした。体温測定やマスク着用は必須だが、年齢制限はない。

坂井祐施設長は「お孫さんやひ孫さんと会うのが、一番元気になるんですよ。コロナ禍で気持ちがふさぎ込んでいた利用者も、家族と会って食欲が出たり、活気が戻ったりしています」と手応えを語る。

その上で「利用者のうれしそうな顔を見られるので、できるだけ面会を制限せず、感染リスクを減らす方法を模索しています。ホームは生活の場なので、家族と会えない状態が長く続くのは本来おかしいこと」と語った。

世田谷区の特別養護老人ホームも、事前予約制の面会に年齢制限はない。担当者は「18歳未満を面会禁止にしても、子どもがいる職員もおり、どこまで効果があるのでしょうか」と疑問視する。

一方、福岡市の特別養護老人ホームの担当者は「リスクを考えて、子どもの面会禁止を検討したことはある」と打ち明ける。だが、現状は年齢制限はなく、「お孫さんなどとお会って喜ぶ方が多いので、体温や体調をチェックした上で面会してもらっています」と話した。厚生労働省はホームページで、高齢者施設の利用者が家族と長期間面会できない場合、認知機能の低下▽気分の落ち込み▽食欲低下——などの影響があるとして、面会を推進する。

また、「面会は利用者の基本的権利で、家族との交流は生活の質に影響を与えます」とする専門家の見解を紹介し、感染リスクを抑えた上での面会実施を呼び掛ける。同省高齢者支援課は取材に「面会の実施方法は各施設の判断になるので、（年齢制限に）問題があるとも、ないとも言えません。面会者の体調を考慮し、各施設で判断してほしい」と話した。

面会者へのお願い

- 面会当日は検温をお願いしましょう。
- 面会者が濃厚接触者である場合や、面会者や同居家族に発熱や咳、のどの痛みなどがあり、感染が疑われる場合は面会を断りましょう。
- 面会者が施設へ入る際には、手洗い・手指消毒を行ってもらい、マスク着用をお願いしましょう。
- 施設で感染者が発生した場合に備え、来訪者の氏名、日時、連絡先を記録しておきましょう。



体調不良の場合は
面会を断る



氏名や連絡先を記入



手洗い、手指消毒、マスクの着用

面会中に留意すべき点

- 面会時には十分な換気を行きましょう。
- 面会はできるだけ少人数で行います。
- 面会場所では大声での会話は控えてもらいましょう。
- 飲食はできるだけ控えましょう。



十分な換気



大声での会話や
飲食は控える



できるだけ少人数で

面会後の対応

- 面会者が、面会后一定期間以内に発症もしくは感染がわかった場合は、施設への連絡をお願いしましょう。